

議員が聞きました 町の“いま”と“これから” 一般質問



12月会議では3人の議員から3件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

町内の無形文化財には、**松前神楽**をはじめ**白符荒馬踊**や**四ヶ散米行列**、**奴行列**、**七福神舞**等がありますが、現況は、高齢化により伝承者が途絶えつつあり、厳しい状況にあります。

現状を踏まえて、教育長、町長に伺います。

動画は
こちら



地域
文化

問

町内文化財の継承支援の
考えは？

答

団体と連携して支援していく

- ① 伝統・文化を後世に残すために、**中学生、高校生と町民の交流**を通して伝統・文化を継承する手法を検討しては？
- ② 広く継承者を集めるため、**町外へ呼びかける**手法も検討しては？
- ③ 衣装、道具、機材等の現況を把握しているか。**修理、買い替え等の支援**の考えは？

小野寺教育長

- ① 地域の良さを学ぶ「ふるさと学習」が小中学校それぞれ発達段階に合わせて行われております。

福島小・吉岡小の合同学習において、四ヶ散米行列の学習や演舞披露など伝統文化に直接触れる活動を行っており、**中学校では、四ヶ散米行列を7月から4回、学芸員による歴史学習や保存会からの演技指導を受け、10月の学校祭で演舞を披露**するなど、興味を抱いてくれたものと感じております。

福島商業高校では、令和4年度に福島大神宮宮司を講師に招き松前神楽についての学習をするなど今後とも地域の行事や郷土芸能に興味を持って参加してくれることを期待しております。

- ② 松前神楽保存会では、福島町出身で函館市在住の方や、八雲町に在住している方が楽人として研鑽を積んでおられると

きいております。**各保存団体から町外の募集について要望がある場合、支援してまいりたい**と考えております。

- ③ 保存団体に対し、備品整備支援を実施しています。

鳴海町長

当町においては、**今年度から小中学校で四ヶ散米行列を授業に取り入れる**工夫をしておりますし、全国募集で集まった**商業高校の生徒たちが、福島大神宮例大祭では町内会山車行列の踊り手になる**など、伝統芸能に触れる機会が多くなり明るい兆しも見えてきており、歴史や文化を絶やすことのないよう保存会や関係団体と連携を図りながら、必要に応じて全面的に支援してまいります。



平沼 昌平議員

社会保障費問題は「人口」「労働力」「医療」「介護」「空家」の5ポイントに要約されると思います。

当町はすでに2025年問題の真ただ中にあり、人口の2分の1が高齢者となっている現実と、2040年問題を視野に入れた煮詰まった対応と計画が行政面、教育的観点から必要と感じますが、当町の「社会保障費問題」に対する展望を町長、教育長に伺います。

動画はこちら



福祉

医療

保険

問

当町の「社会保障費問題」に対する展望は？

答

生涯現役、生涯活躍社会を前提とした体制の構築

鳴海町長

基本的に国の政策に係る部分が多く、町独自での対応は限定的と捉えており、人生百年時代に対応した生涯現役、生涯活躍社会を前提に高齢者でも福祉や医療などの支え手になれるような体制の構築を模索してまいります。

小野寺教育長

人口減少・少子高齢化問題に対し、若い人に地域に残ってもらうことが重要な課題です。

地域課題探求学習を推進しており、今後も地域のために頑張りたいと思う児童生徒を増やしていきたいと考えています。



木村 隆議員

砂川市猟友会支部長のヒグマ駆除に伴う高裁判決の結果、北海道猟友会は自治体や警察との連携が不十分な場合、出動を拒否するよう決定し各支部に通知するとしています。道猟友会からの通知に対し道猟友会松前支部と協議の場が持たれたのか伺います。

鳥獣駆除に興味のある人材の掘り起こしと人材を育てる指導体制も必要と考えます。

先月の補正予算のような福島町有害鳥獣駆除会に任せきりではなくきちんとした担い手制度が必要ではないでしょうか。

動画はこちら



産業

問

当町の有害鳥獣対策の状況は

答

地元猟友会と連携し、対策を講じている

鳴海町長

今後の対応について猟友会松前支部長と協議し、有害鳥獣の捕獲活動は継続する旨の回答をいただいております。

3名のハンターに加え、新たに1名の方が猟友会の会員となっております。

当町では、人材育成事業を創設しており、新たな会員の方には、現在、独り立ちすべく研修を受けていただいております。

